



光栄ある例会にお招き頂いたことに感謝いたします。ありがとうございました。そして、笑顔で静聴くださった会員の皆様にお礼申し上げます。

(会報担当者：藤野明信 副委員長)

◎ 出席報告

会員数	59名	出席率	函館北	3月8日	75.00%
出席席	29名		函館東	3月7日	74.07%
欠席席	26名		函館	3月2日	81.25%
他クラブ出席	10名		函館五稜郭	3月3日	96.54%
出席合計	39名		函館亀田	3月6日	80.85%
除外者	3名				

・ テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・4月5日 プログラム	「道南の焼物」 浜出忠夫氏
------------------	------------------



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

1999~2000年度 国際ロータリーテーマ

ロータリー2000: ROTARY2000: ACT WITH  
活動は一堅実 CONSISTENCY, CREDIBILITY,  
信望・持続 CONTINUITY

小池 凌一 会長テーマ 『友 愛』



3月22日卓話 北出喜代彦氏

## 《第1769回例会》 第35号 3月29日(水)

### 本日のプログラム

新入会員卓話 「今なぜISDNか」

成瀬一徳 会員

★会長 小池 凌一 ★幹事 阿相 義則

例会場:函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

1999~2000 〈第1768回例会〉第34号

## 3月22日の記録

◎司 会 小池 凌一 会長 ◎齊 唱 我等の生業

◎ゲ ス ト 北出喜代彦 氏 交換学生：澤田衣里さん

◎ビジター 函館R.C.佐藤公郎君・川端久雄君・神田勝美君・鹿目浩一君・河内孝夫君・木村一郎君、函館東R.C.明本修一君、函館五稜郭R.C.光銭裕二君

◎会長報告 小池 凌一 会長

○昨日の七飯R.C.夜間例会に出席しました。例会についてご報告します。

◎委員会報告

●交換学生委員会 阿相 義則 委員長

スイス短期留学の要項について説明します。

○交換学生：澤田衣里さん帰国挨拶

皆さんこんにちは。澤田衣里です。函館北ロータリークラブの推薦を頂き、オーストラリアでの一年間の留学を終えて、3月15日に函館に帰ってきました。私のコフスハーバーでの一年は、言葉では言い表すことのできない素晴らしい一年でした。もちろん楽しい事ばかりではなく、つらくて涙を流す事は一度や二度ではありませんでした。最初の4ヶ月程はトラブル続きで「もう帰りたい」とまで思っていました。でも日本のクラスや先生方、そして家族からの手紙が私を一番支えてくれました。そして私は「積極的に一年を楽しもう。」と思い始め、つらかった学校も、最後はとても楽しくなりました。

中でも一番の思い出は、16ヶ国からの26人の学生が参加するロータリーのサファリツアーです。1ヵ月間バスでオーストラリアを半周し、みんなでキャンプ生活をしました。その頃の私の英語はまだまだとどどしく、会話をするというよりも、顔や体をつかって表現していました。それでも他の学生たちは私を妹のように世話をしてくれて本当に楽しい思い出ができました。そして2度目のロータリーツアーでは、また新しい学生たちと首都のキャンベラで大使館を訪問したり、スキーをしたりしました。このツアーではもう他の学生たちと対等に会話ができて、みんなとても親しくなれた気がします。今でも、帰ってしまった学生たちとe-mailを通して連絡をとりあっています。いつかみんなの国へいけたらいいなと思います。

このような機会を与えて下さった北ロータリーの皆様、校長先生をはじめ、遺愛高校の先生方に心から感謝いたします。ありがとうございました。

◎幹事報告 阿相 義則 幹事

- 会員の推薦がありました。異議の申し立ては3月28日迄に書面にて理事会までご提出下さい。
- ロータリー適用相場が4月1日より現行104円から109円に変更になります。
- 地区大会で出席100%表彰を受けられる会員は、15年:橋場会員・新'会員、10年:小笠原会員となります。これは1999年6月30日現在の通算です。

◎親睦活動委員会 田中 薫 委員

## ニコニコBOX投入報告

- 阿相 幹事……澤田衣里さんを歓迎して。
- 小笠原会員・森 会員・久保会員・新 会員……BOXに協力。
- 小池 会長……昨日七飯R.C.夜間例会に参加して来ました。
- 緒方 会員……3月19日に娘が結婚致しました。
- 瀬川 会員……引越しシーズンです。お互い頑張りましょう。
- 山崎憐会員……ケリーのホームステイ先が大村会員宅から我家に(20日)変わりました。これから4ヶ月ですが仲良くしていきたいと考えています。
- 西尾 会員……ジョージさん・フランクさんに会って来ました。
- 敷下 会員……ゲストの北出さんを歓迎して。

◎卓話 「絵手紙は心で描く」 絵手紙講師 北出 喜代彦 氏

絵手紙とは「絵の入った手紙」を送ることです。基本は「ヘタでいい、ヘタがいい」。決まりきった挨拶や言葉を抜きにし、自由に、心の動いたまま絵を描き、なるべく短い言葉を添えたものでいい。大切なのは、「自分らしさ」が表に出ること。「絵心がないから」などの心配は一切ご無用。「上手に描かなければ」と思うから、絵が描けなくなるのです。「ヘタでいい」と思えば気が楽になります。

「堂々とヘタに描こう」というのが、絵手紙のモットーなのです。

「便利さ」で言えば、電話やファックスにかなわないけれど、「利便性」や“スピード”とは違い、温かい価値があります。ワープロやパソコンといった機械社会の中であって、「人間にとって大切なものを失われつつある」と不安感をもつ人が増えている。だから、いま、手書きの手紙が見直しされ、絵のある手紙が燎原の火のごとくその広まりをみることは、こうした世相を反映しているものと思います。ワープロやパソコンは情報を送るが、絵手紙は人の心を贈る。わずか50円で。

心を贈る絵手紙が企業が担える顧客を対象に送るとしたら、企業の心が伝わり、なにものにも勝る価値が蓄積されることでしょう。そんな活用法が、函館で旋風がまき発きるとしたら、新しい函館の心が全国にひびき亘る。そんな絵手紙の誕生を夢みたい私です。